

令和4年度 ヨコハマ市民まち普請事業

3つの施設整備提案を助成対象に決定！



令和5年1月29日(日)に「令和4年度ヨコハマ市民まち普請事業2次コンテスト」を開催し、創意工夫・実現性・公共性・費用対効果・地域まちづくりへの発展性の5つの基準での公開審査の結果、**3つの提案が令和5年度の整備助成対象に選考されました！**

今後、グループ自らの整備により、まちづくりの提案を具体化していきます。



提案グループのプレゼンテーション



審査員との質疑応答



結果発表

 整備助成対象に選考された提案**【鳥山ノスタルジア計画・町への愛着生む居場所を作る】町を故郷に・鳥山ノスタルジアプロジェクト(港北区)**

空き家を改修し、「町カフェ」「地域インフォメーションセンター」を整備。人や情報を拠点から外へつなげていく「地域連携HUB」を目指す。

【評価ポイント】目指す地域の将来像が明確になっていた。小さい場所などできることは限られるが、そこを良さとして活動することが期待できる。

**【「食」をきっかけとしたシェア空間の立ち上げ】まちまど・洋光台シェアベース実行委員会(磯子区)**

洋光台中央団地の空き区画にシェアスペースやシェアキッチンを整備。

「結び手」がつなぎ、みんながみんなの応援団となる、助け合えるまちへ。

【評価ポイント】提案メンバーだけでなく、周りの人たちへのリスペクトを忘れず、その人たちを光らせるような活動に期待できる。

**【松見町みんなの実家「てんこもりのわ」プロジェクト】てんこもりのわ(神奈川区)**

既存の多世代交流拠点を改修し、子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れる

「みんなの実家」を整備し、地域住民の世代間交流や活躍の場を創出。

【評価ポイント】今までの活動を実直に続けようとしていて、その誠実性やエネルギーから今後の活動の発展に期待が持てる。



参考：ヨコハマ市民まち普請事業とは・・・

市民の皆様が主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50万円～500万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

なお、令和5年度の整備助成金は横浜市区会における令和5年度予算の議決をもって確定します。

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長

萩原 慶一

Tel 045-671-2665